

平成15年10月6日

作家、皆木和義氏による「IR人物論」コンテンツ開始のお知らせ

(10月中旬より)

インターネット・トレーディング専門の証券会社、ディーエルジェイディレクト・エスエフジー証券株式会社(代表取締役: 國重惇史、本社: 東京都千代田区; 以下「DLJ」)は、作家、あるいは、歴史研究家、IRコンサルタントとして活躍中の皆木和義氏による新コンテンツ「IR人物論」の連載を10月中旬より開始いたします。

このコンテンツは、通常のIR活動の一環としてよく見られるような単なる企業トップインタビューやコメントとして記事を提供するのではなく、新しい趣向のIR情報を提供するものです。今回の連載開始にあたり、執筆者である皆木氏からは次のようなコメントが寄せられています。

「個人投資家の立場に立って、企業のトップの人間性、考え方、戦略実現力、経営の方向性等を人間学の観点から明らかにすることを通じて、その企業の成長性、発展性を考えるためのヒントを連載でお届けします。」

経営者の人物に焦点をあてることで、企業を理解する新しい視点を提供することができるのではないかと期待しています。

また、本連載開始にあたり、ホームページにて、取り上げてもらいた経営者を個人投資家から募集し、随時、連載に反映してまいります。

皆木和義氏のプロフィール

作家、歴史研究家、経営コンサルタント。1953年生まれ、岡山県出身。
早稲田大学法学部在学中から、財界の官房長官と言われた故今里廣記・元日本精工会長に師事。卒業後も、今里氏の側近として公私共に薫陶を受ける。
その後、IR(投資家向け広報)、IPO(株式公開)、経営戦略、人材育成を中心とする実践経営コンサルタントとして幅広く活動する傍ら、稲盛和夫京セラ名誉会長主宰の盛和塾や樋口廣太郎アサヒビール元会長を囲む産官学の俊秀の集いである廣志会の代表世話人を務める。早稲田大学エクステンションセンターで「宮本武蔵に学ぶ五輪書の心」「ベンチャー経営論」などの講座も持つ。「日経ビジネス」の2003年新年号より、半年間にわたって、宮本武蔵を連載。
著書として、「武蔵の学習力」「ベンチャ-経営革命」(共に日経BP社)、「ビジネス五輪書 個を磨いて勝つ」(講談社、韓国でも近刊予定)、「稲盛和夫と中村天風」「松下幸之助と樋口廣太郎」(共にプレジデント社)、「MBA ビジネスプラン(共著)」(ダイヤモンド社)など多数がある。

DLJでは、これまでも個人投資家への情報提供の一環として、企業のIR活動に対して積極的な支援を行ってまいりました。その中には、IRセミナーの開催、勉強会に組み入れた形でのIR説明会実施、ホームページでのIRコーナーの設置などを継続的に行っています。

DLJディレクトは、1999年3月に設立され、同年6月11日よりサービスを開始した日本初のインターネット・トレーディング専門の証券会社です。CSFB*direct* Asia Holdings Inc.、三井住友銀行、インターネットイニシアティブ、住友商事、住友生命保険、三井住友海上火災保険、住友信託銀行が株主となっています。